

分会情報

J R 東海労大阪仕業検査車両所分会

No.75 2013.6.20

発行責任者 柿本 克彦

編集責任者 教 宣 部

「仕業検査作業手順書修正について」の申し入れ開催拒否！！

しかし、不備を認め、改訂版を出すと返答！

6月10日、「申」について組合側幹事と会社側幹事による事前審理がありました。しかし、大仕両分会が問題とした「仕業検査手順書修正についての申し入れ」を会社側は「付議事項にあたらぬ」として「却下」、業務委員会の開催を拒否しました。

しかし会社は、この申し入れについて会社の考えを説明してきました。

《事前審理のやり取りです》

会社：この申し入れは昨年夏の停電事故後の対策の事を言っているのか？

組合：そうではない。N700A導入に伴う、新しくなった手順書の事である。

会社：停電対策でパン、EGSの扱いでモニタ画面について手順書に盛り込めばいいじゃないかという声は聞いている。改訂版が出る。より良くするために、確実な業務を行うために。

組合：手順に抜けがあると聞いている。

会社：追加的に出されたものについて引き続きやってもらう。

組合：用語にも違いがある。

会社：事業部で統括している。その点も含めて調整中である。疑問点があれば現場で聞いてもらえばよい。

組合：改訂版はいつごろ出るのか？

会社：近いうち。会社も同じ認識を持っている。

現場管理者は「何も知らない」「何も言わない」「何もしない」

毎日のように、この間違った手順書で管理者が担当社員に対し、点検し、勤務評価しています。何人もの社員が「手順書通りできていない」と言われ、ボーナス・カットされています。私達はこの手順書の間違いを指摘しているのに管理者は「言うておく」と言うだけで「どうなったか」の報告はまったくありません。現場管理者に聞いても「わからない」という返答です。支社は「現場で聞いてもらえばよい」と言っていますが、これでは無理です。社員がわかるように指導すべきです。

しかも、こんな大事な手順書の改訂版を「いつ頃だすのか？」の問いに「近いうち。」の回答は現場管理者と同じ認識ではありません。

こんな大事な手順書の改訂版、いつ出すの？今でしょ！！